

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人

日照養徳園

令和6年度日照養徳園事業報告

令和6年度の事業報告を各事業別に報告いたします。

令和6年度においては、コロナウイルスによる行動制限は無くなり、活動は従前の内容に戻りました。インフルエンザ同様に日常の中の出来事として考え、数件の罹患は有りましたが拡大することもなく生活ができました。

① 地域小規模児童養護施設の安定化

平成22年5月に開設した地域小規模児童養護施設「ひなた」は令和6年度で15年目を終えた所である。

令和6年度は6名の児童で生活をスタートし、措置変更があり2月・3月は5名での生活となりました

年度末の退所児童も1名いるために、令和7年度は本園含め児童の配置が変化します。

一方、退所児童へのアフターケアの対象も増えているが、連絡がつかなくなる児童も出てきている。定期的な連絡は切れない様にしたい。

職員体制のフォローは、地域小規模施設に対する「地域分散化加算職員配置」を活用し令和6年度は5名配置体制となりましたが令和7年度は人材確保をして6名配置とされています。

② 施設の小規模化の推進について

分園型小規模グループケアを令和4年度に開設し児童6名、職員6名配置の生活とし、令和6年度も児童5名から6名の生活となりました。3年目も混乱なく生活できました。

日照養徳園の中長期計画「日照養徳園社会的養育推進計画」は令和2年度から①～⑦でスタートし、令和6年度までに⑤までが終了した。

①、②は令和4年度に実施

③については令和4年度から子ども食堂と里親サロンを実施した。

④については令和5年度に物件を確保しました。

令和6年度は⑤⑥を実施しました。

令和7年度からの新しい「日照養徳園社会的養育推進計画」＝【中長期計画】も作成しました。

【旧中長期計画】

- ① 令和4年度当初に分園型小規模グループケア施設（定員6名）の開設
- ② これにより本園は定員30名と減員する（本体施設24名+分園6名）
- ③ 令和4年度中には本体に空きスペースができることにより、多機能化事業を実施
- ④ 令和5年度中に第2分園の物件を確保する。（定員6名）
- ⑤ 令和6年度中に第2分園のリフォーム等で実施準備
- ⑥ 令和7年度には本体施設を30名定員（本園6名×3グループ+分園6名×2）
+地域小規模施設も6名定員で継続 合計定員36名

【新中長期計画】

- ①令和7年度から本体施設30名定員（本園6名×3グループ+分園6名+分園6名）
地域小規模児童養護施設6名定員 合計36名定員
②令和11年度中に 本体施設30名定員（本園6名×2又は4名×3）
+ 分園6名+分園6名+分園6名(地域小規模を分園に転換)

③ 施設(設備)整備事業関連

- ⑦ 本園使用の園車買替え(日産セレナ→日産セレナへ買替)
総事業費 1,807,400円
自己資金 1,807,400円
⑧ 第2分園用園車の購入(トヨタルーミー購入)
総事業費 1,480,000円
自己資金 1,480,000円
⑨ 本園地域支援スペース及び2Fホールの照明LED化
総事業費 572,000円
自己資金 572,000円
⑩ 地域小規模施設「ひなた」のコウモリ被害対策工事
総事業費 200,000円
自己資金 200,000円

④ 地域や行事関連

養徳園夏祭り

令和5年度から復活した夏祭りは令和6年度は7月20日(土)に実施しました。地域の皆様を含めて約300名の参加がありました。

餅つき大会

夏祭り同様に令和2年度以降中止していましたが令和5年度より復活し、令和6年度も12月28日(土)に実施しました。地域の皆様含め約100名の参加がありました。

PTA活動について

平成18年度から豊浦小PTA事務局役員(PTA副会長として 大谷恭久)
として活動を行い、令和6年度は職員が副会長として参加しました
豊浦中学校のPTA事務局にも職員が1名副会長として参加している。
又、高萩清松高校のPTA事務局監事監査として園長がPTA活動に参画しました。
(令和7年度も監事監査予定)

日照養徳園地域支援チーム「ようとく」

平成4年度から地域支援チーム「ようとく」の活動を始め、子ども食堂や里親サロ

ンを実施した。令和6年度も、日立市の子ども食堂実施事業補助を受け、年間12回（月2回）の子ども食堂「ようとくカフェ」を実施。日曜日の昼食を基本として毎回50食の配布を行った。ボランティア団体「YOURNEIGHBOUR」の学生にも支援いただいた。

⑤ 人事関連

- 退職者 令和7年1月に保育士が退職（逝去）しました。
令和7年3月末に児童指導員（非常勤）1名が退職しました。
- 中途採用者 特にいません
- 新規採用者 令和7年4月に児童指導員1名、保育士7名を採用しました
- 育児休暇等取得者
令和7年2月より保育士1名が育児休暇を取得しています。

⑥ 処遇関連

・不登校児童への対応

令和6年度については学校生活に不安定であった高校生が性的事故を起こした結果、登校が不可能となった。（職員による送迎が学校に求められている為、実現不可能）それ以外にも、心理的に不安定な児童はいるが、継続的な欠席にはなっていない。

・児童間の暴力的上下関係・いじめへの対応

児童間の暴力やいじめ、又児童から職員への暴言や暴力についても、その場で見逃さない対応をとってきた。新規入所や一時保護児童の増加による児童の不安定はあるが、職員の対応により大きな混乱には至っていない。又児童間のトラブルは起きることはあるがその都度話し合いを行い継続的トラブルにはなっていない。職員間の連携がずれないように専門職もフォローしている。

・性的問題行動やSNSトラブルへの対応

近年の傾向として高校生を中心としてスマートホンを介在した性に関わる事故やSNS上のトラブルが発生している。

高校生は全員所持しているが夜間は職員に預けることや使用時間、使用場所の制限は継続している。

このような対応の中でも、高校生1名が性的事故（パパ活）を行ってたことが判明した。心理的に不安定な児童であったが警察案件となる。

当該児童だけの事故ではあるが昼間の時間帯（通学時間帯）については使用制限ができない為、日々の行動を注意していきながら、トラブル時に話し合いができるような関係づくりが必要となり、又学校との連携が重要になっている

・基本的生活習慣の取得について

朝起きる事～朝食～登校へのパターン及び、帰園後の生活～就寝までの過ごし方についての乱れは無かった。コロナ禍による個食も緩和したため、日々の会話が増えるようになった。見えてきた課題は常に話し合い改善に向け工夫をしている。

・職員間のチームワークの問題

各 G 内での会議や、職員会議・処遇会議・給食会議・グループ長会議、グループリーダー会議にて方針を徹底させたことから、職員間での対応のブレは少なくなったが、個別に問題を抱える児童についての関りはまだ個人差がある。主任を中心としてアドバイスを実施ながら、見直しを行っていく。

令和 6 年度も地域分散施設（分園と地域小規模）が 2 カ所となり、本体から見えにくい生活スタイルとなったため、加算配置された「地域小規模施設等バックアップ職員」を中心に連携を深めた。

又、 F S W (ファミリーソーシャルワーカー) 担当職員、心理対応職員、職業指導員と各グループとの連携をより充実させ、令和 7 年度も分散化施設 3 カ所との連携を推進していく。

・外部の人材による処遇向上について

内部職員だけでは、手が廻らない部分について、外部の力を借りてフォローしていくことが必要となっているが、令和 6 年度もボランティア学生を積極的に受け入れた。

(1) 教養娯楽の部分（読み聞かせ、習字、音楽、美術、スポーツ等）

(2) 学力向上の部分（学生等の力による、学習塾的な場を設け、取り掛かる）

又、中学生の学習塾や公文テキストの導入等を活用して学力向上に役立てた。

今後は集団学習に適応しにくい児童に対し、個別的指導が可能な人材を確保していくことが必要になる。

又、高校生の進学を支援するために、学習塾（進学予備校）利用を推進していくが、措置費の補助（月額 20,000 円～25,000 円）では不足する部分を施設として年間 10 万円まで予算化したが、利用した高校生はいなかった。

⑦ 苦情対応について

令和 6 年度の苦情受付件数は 0 件 でした。

ヒヤリハット報告や事故報告は多数ありますが、苦情解決システムに諮る事案はありませんでした。

⑧ 児童手当（旧子ども手当）の実施

令和 6 年度の 10 月から、高校生にも児童手当が支給されました。

（3 歳未満は 15,000 円／月、3 歳以上は 10,000 円／月）

各児童の預金通帳を作成し、施設が責任をもって管理しています。

高校生のスマートホン購入時の初期費用等に活用していますが、スマートホン費用以外に必要な個別的費用については状況により児童手当から支出可能としています。

⑨ 在籍児童月間推移

令和6年度各月初日在籍児童数（実在籍児童数）

区分	定員	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
本園	24名	男	8	8	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	93	7.75
		女	13	14	14	14	13	15	15	15	15	15	14	14	171	14.25
		小計	21	22	21	21	20	23	23	23	23	23	22	22	264	22.00
分園	6名	男	5	4	4	4	5	6	6	6	6	6	6	6	64	5.33
ひなた	6名	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	34	2.83
		女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3.00
		小計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	70	5.83
合計	36名	合計	32	32	31	31	31	35	35	35	35	35	33	33	398	33.16

令和6年度新規入所児童数 8名

令和6年度退所児童数 10名(高校3年生3名含む)

令和6年度は全体平均33.16名の在籍となっているが、地域小規模と本体施設(本園+分園)を分けて定員計算が必要となる。

本体施設 定員30名に対し平均入所者27.33名 (=切り上げ28名充足率93%)

地域小規模施設 定員6名に対し平均入所者5.83名 (=切り上げ6名充足率100%)

となりました。

令和7年度も本体施設定員30名(分園2つ含む)、地域小規模施設定員6名、合計定員36名でスタートします。

⑩ 進路関係

高校3年男児・・・・就職(泰榮エンジニアリング、多賀市内でアパート生活)

高校3年女児・・・・進学(水戸メディカルカレッジ、水戸市内でアパート生活)

高校3年女児・・・・進学(茨城中央福祉専門学校、ひたちなか市内でアパート生活)

中学3年男児・・・・就職(退所し親元から就職)

中学3年男児・・・・県立石岡商業高校に進学(退所し親元から高校進学)

中学3年男児・・・・県立高萩高校に進学(日照養徳園から高校進学)

中学3年男児・・・・県立多賀高校に進学(日照養徳園から高校進学)

中学3年男児・・・・県立高萩清松高校に進学(日照養徳園から高校進学)

中学3年女児・・・・県立日立第二高校に進学(日照養徳園から高校進学)

中学3年女児・・・・県立高萩高校に進学(日照養徳園から高校進学)

中学3年女児・・・・県立高萩清松高校に進学(日照養徳園から高校進学)

⑪ 寄付金・助成金関係

高校を卒業し進学した児童に対しては、国の補助制度「自立支援資金貸付金制度」があるが、大学中退の不安がある児童の場合は活用していないが、令和6年度退所し進学した児童1名は活用した。(生活資金月額5万円限度、アパート家賃月額で生活保護の住宅扶助限度)又、就職する児童に対しては、運転免許取得資金として25万円の借入制度(2年継続就労にて返済免除)や、アパート家賃支援制度があるが、5年間の継続就労の減免条件がある為、不安がある児童については活用していない。

⑫ 第三者評価の検証

令和4年度(令和5年2月)に第3回第3者評価を実施した為、令和6年度は自己評価となりました。令和7年度は第3者評価を実施します。

評価内容も毎年変化があることから、その変化に沿って施設としての考え方も改善していく必要があります。

⑬ コロナ対策の実施

令和6年度の日照養徳園においては児童・職員数名が発症しました。

行動制限が無くなったりもあり、感染経路は不明でしたが、軽症だった為隔離期間を設けることで集団発生には至りませんでした。

令和6年度は特別な制限は行わずに、その他病気と同様に当該グループだけのシフトは組みませんでした。療養期間終了後に日常生活に戻りました。

必要に応じ、施設が保有する検査キットを用いて、陰性を確認しました。

以上

事 業 報 告

年	月	日	摘要
6	4	1	入社式
		3	子ども食堂開催
		7	日立さくらまつり(日立きららライオンズクラブ参加)
		8	中学校入学式 小学校始業式
		9	小学校・県立高校・特別支援学校 入学式
		10	幼稚園入園式 職員会議
		13	中学校授業参観、PTA 総会
		15	茨児協総務委員会
		16	給食会議
		18	処遇会議 県社会福祉法人経営者協議会理事会
		19	施設長会議 (WEB) 茨児協役員会 (WEB)
		20	小学校授業参観、PTA 総会
		21	子ども食堂開催
		23	G長会議
		24	県北施設合同研修会会議
		26	茨児協総会 幼稚園 PTA 総会
	5	1	職員会議
		5	キッチンカー来園
		6	子ども食堂開催 そら G 行事
		9	給食会議
		10	茨児協総務委員会
		11	清松高校 PTA 総会、そら G、ひなた G いちご狩り
		14	あさひ G、たいよう G いちご狩り
		17	施設長会議、茨児協役員会 県社協総合企画委員会
		18	中学校体育祭
		20	処遇会議、県少子化対策審議会
		21	日立管内里親支援会議
		23	幼稚園親子遠足
		24	日立市要対協代表者会議
		25	小学校運動会
6	6	27	茨児協里専委員会、県社会福祉法人経営者協議会総会
		28	G長会議 日照養徳園理事会
		30	県社協退職金支給制度運営委員会
		31	県社会福祉審議会児童処遇部会
		4	職員会議 十王中修学旅行～6日
		9	子ども食堂開催
		10	県北施設合同研修会会議
		11	茨児協総務委員会
		13	施設長会議

年	月	日	摘要
6	6	16	里親基礎研修会
		18	日立管内里親支援会議
		20	処遇会議
	7	21	日照養徳園評議会、県互助会理事会、県社会福祉審議会児童処遇部会
		22	子ども食堂開催 茨城県里親連合会総会
		24	茨児協里専委員会
		27	G長会議
		29	豊浦地区合同防災訓練
		1	茨児協新任職員研修会、茨児協総務員会
		3	職員会議
	7	4	常総市要対協
		5	施設長会議、県児相との情報交換会
		7	子ども食堂開催 里親登録前研修会
		9	関プロ児童養護施設研究協議会静岡大会～10日
		15	里親制度説明会
		16	日立管内里親支援会議 入所1名
		17	処遇会議
		18	茨児協ボーリング大会
		19	終業式 茨児協役員会
		20	日照養徳園夏祭り
		22	茨児協里専委員会
		23	日立児相処遇検討会
		25	子ども食堂開催 中央児相処遇検討会①
		26	中央児相処遇検討会②
		27	BIGWAVE イベント招待行事①
		28	BIGWAVE イベント招待行事②
		29	G長会議 土浦児相処遇検討会
	8	1	茨児協野球・ソフトボール大会
		2	職員会議
		3	川尻花火大会
		4	十王祭り
		5	ひなた行事 だいち行事
		6	里親セミナー
		20	子ども食堂開催 日立管内里親支援会議 茨児協総務委員会
		21	G長会議 茨児協従事者部会
		22	常陽不動産 BBQ 行事
		23	施設長会議
		24	だいち行事
		26	茨児協里専委員会
		28	だいち行事 格闘技招待行事 (ピースブロッект)
		29	県定期指導監査
		30	子ども食堂開催 あさひ行事
		31	そら行事

年	月	日	摘要
6	9	2	始業式
		3	県社会福祉法人経営者協議会セミナー
		4	職員会議
		5	関プロ権利擁護研修会
		8	子ども食堂開催
		9	里親セミナー
		10	給食会議
		12	県北施設合同研修会
		13	茨児協総務委員会
		15	そら行事
		19	処遇会議 茨児協カフェ 日立管内里親支援会議
		20	施設長会議 茨児協役員会
		23	子ども食堂開催
		24	全国経営協人事労務管理研修会～25日
		26	G長会議 エース産業火報装置点検
		27	茨児協委心理委員会（養徳園開催）
		30	茨児協里専委員会
	10	1	茨児協権利擁護研修会
		2	職員会議
		4	茨児協事務委員会
		5	里親基礎研修会
		8	給食会議
		9	関プロ児童養護職員研修会①
		10	関プロ児童養護職員研修会②
		12	幼稚園運動会
		14	子ども食堂開催
		15	茨児協総務委員会
	11	16	処遇会議
		17	関プロ職員野球大会①
		18	関プロ職員野球大会②
		19	総合消防訓練
		22	全国児童養護施設研究協議会～24日
		25	施設長会議
		27	子ども食堂開催
		25	豊小修学旅行～23日
		26	子ども食堂開催
		28	茨児協里専委員会
		29	保育士養成校連絡協議会
		30	G長会議
		1	オレンジリボンタスキリレー
		3	豊浦学区三世代文化祭(子ども食堂参加)
		6	職員会議 県少子化対策審議会
		9	子ども食堂開催

年	月	日	摘要
6	11	10	里親登録委前研修会
		11	給食会議
		12	茨児協総務委員会
		15	施設長会議 茨児協役員会
		17	里親登録前研修会
		18	処遇会議 日立管内里親支援会議
		21	県社会的養育推進計画 WT
		22	里親セミナー
		24	子ども食堂開催
		26	G長会議 茨児協総務委員会
		29	関プロ正副会長との情報交換会
	12	2	職員会議
		4	県北施設合同研修会
		6	施設長会議 県児相情報交換会
		7	子ども食堂 里親施設実習
		8	新人職員研修会
		10	給食会議
		11	園内研修会～12日
		13	関東地区児童相談所講演会
		14	里親施設実習
7	1	15	子ども食堂開催
		17	日立管内里親支援会議
		19	処遇会議
		20	茨児協従事者部会
		23	茨児協里専委員会
		24	終業式 G長会議 園内クリスマス会
		25	キッチンカー来園
		28	餅つき大会
		8	始業式 職員会議
		6	子ども食堂
		9	給食会議
		14	茨児協自立支援研修会
		15	茨児協総務委員会
		16	給食会議
		17	施設長部会 茨児協役員会
		21	日立管内里親支援会議
		22	処遇会議
		24	園内研修会
		26	子ども食堂開催
		28	G長会議
		31	茨児協新年情報交換会
	2	3	県社会福祉法人経営者協議会セミナー
		7	職員会議 県北施設合同研修会

年	月	日	摘要
7	2	9	子ども食堂開催
	10		給食会議 県少子化対策審議会
	15		総合消防訓練
	17		茨児協里専委員会
	18		処遇会議 茨児協総務委員会 茨児協事務職員研修会
	19		茨児協従事者部会
	21		施設長会議 里親セミナー
	22		子ども食堂開催
	23		社会福祉実習指導者講習会～24日
	25		G長会議
	26		県社協退職金支給制度運営委員会
	27		県立高校入試 茨児協FSW委員会
3	3		職員会議 第2分園「ひかり」引き渡し
	5		県北施設合同研修会報告会
	6		県立高校卒業式
	7		社会福祉施設従事者互助会理事会
	8		退職金支給制度運営委員会 県審議会児童処遇部会
	9		子ども食堂開催
	10		給食会議
	11		中学校卒業式
	12		県立高校合格発表
	13		茨児協総務委員会
	17		処遇会議
	18		幼稚園卒園式
	19		日照養徳園理事会 小学校卒業式
	21		G長会議 施設長会議 茨児協役員会
	23		子ども食堂開催
	24		修了式 茨児協里専委員会